

# 第11回学術及び総合情報処理センター 研究交流・連絡会議報告

弘前大学総合情報処理センター長 吉岡良雄\*

開催日時 平成11年10月7日(木) 14:00~17:00

開催場所 弘前大学総合情報処理センター「計算機システム研修室」

## 参加者

山形大学1名、茨城大学1名、図書館情報大学1名、筑波大学1名、埼玉大学2名、千葉大学1名、東京農工大学1名、東京工業大学1名、電気通信大学1名、横浜国立大学1名、新潟大学1名、富山大学1名、金沢大学1名、山梨大学1名、信州大学1名、岐阜大学2名、神戸大学1名、鳥取大学1名、岡山大学1名、広島大学1名、山口大学1名、徳島大学1名、愛媛大学1名、長崎大学1名、熊本大学2名、鹿児島大学3名、琉球大学1名、弘前大学2名 計34名

## 資料等

1. 出席者名簿
2. 第11回学術及び総合情報処理センター研究交流・連絡会議資料
3. 学術及び総合情報処理センター研究交流・連絡会議等開催一覧
4. 学術情報処理研究 No.3 1999

## 会議次第

1. 弘前大学総合情報処理センター長挨拶
2. 弘前大学学長挨拶
3. 議長に弘前大学総合情報処理センター長 吉岡良雄を選出
4. 出席者自己紹介
5. 議事

## 議事内容

配布資料2のアンケート結果に基づき、各大学に意見を求めた。

### 1. 情報処理教育に関して

情報処理(演習)が選択科目になっているのは19校であり、残りの10校は必修科目となっている。しかし、

- 選択ではあるが必ず開講しており、受講を推奨している。
- 形式上選択であるが、必修科目と位置付けている。
- 選択科目にすると、モラル教育が徹底できないなどの問題が発生する。
- 選択科目とした背景には教官の不足がある。

実施方法について

- 情報処理教育のための組織がない: 11校
- 学部で独自に実施している。
- 各学部が独自に実施しているが、教科書は用意してある。
- スタッフが少ないので各学科の委員に任せているが、資料の作成、配布、及びウェブへの掲載などは実施している。
- モラル教育は座学でおこなっている。
- 教材として「市民リテラシー」を利用している。

\*〒036-8561 弘前市文京町3 slyoshi@si.hirosaki-u.ac.jp

- メールでリテラシーに関する資料が送付されるシステムを使用しており、出力したものの配布も行っている。

#### 教育内容について

- ワープロ、スプレッドシート、インターネット、がコアカリキュラム。
- ワープロ程度のリテラシー教育は高校へ移るであろう。
- 高校の情報教育環境はハード的には整うが、教える先生が不足するであろう。
- 大学らしいリテラシーが求められる。
- 専門情報リテラシーが必要である。
- 学生はコンピュータを扱ってもプログラミングができない。

#### 不正利用について

- 不正利用者の処遇を決定する組織を有する：5大学
- 先生と学生の処分を実施した。
- ID 取り消しに関してはセンターでは一時停止するだけであり、実際の処分は学部で決定する。
- 学内サービスシステムのメンテナンス業者経由で侵入された。

## 2. センター運営に関して

### ① システム構成について

端末台数：19校が200台以上（200~300台:7校、300~400台:7校、400台~:5校）

- 端末を管理するには UNIX 系の方が簡単だが、学生にどちらかを選択できるような環境を用意すると Windows がよく使われる。
- Windows と unix の両方を用いる環境ではパスワードの変更が困難であり、また、維持管理に手間がかかる。
- ベクトル型などの高速計算機は利用率は 100%であるが、利用者は十名程度である。価格が高価なことから、端末数の導入台数にしわ寄せが現れることになる。
- UNIX 用のアプリケーションソフトがとて高価なので Windows を選択することにした。
- パソコンは盗難に遭いやすいが、X 端末は盗難がない。
- 必ずしもパソコン端末である必要はない。X 端末でも十分利用される。
- パソコンが安価になってきたので学生が自分で購入するケースが多い。
- 無線 LAN を導入している。

### ② パスワードについて

- NT と unix のパスワードを同期させている。
- 学生証を入れるとパスワードが発行されるようなシステムを導入した。
- はじめはロックしておき、授業開始時にアンロックする。さらに 3 ヶ月間未使用でロックする。
- 事務職員のパスワードは ID と同じなど容易に推測できるケースが多い。
- 他者（家族を含む）にパスワードを教えて不正に利用している。
- 研究室で学外者が利用している。問題を引き起こした場合の対処をどうすべきか。

### ③ バックアップについて

ファイルサーバのディスク容量が大きくなってきており、各大学でバックアップをどのようにしているのか意見を求めた。

- 学生用ファイルサーバはシステムバックアップのみ行い、ユーザのホームは各自で行う。研究用ファイルサーバは月に 1 度のフルバックアップ、週に 1 度の差分バックアップを行っている。
- ユーザのファイルは原則的には復旧しないことにしている。

### ④ システムの安定稼動について

## 事例

- 端末を正常に使用できるまでにネットワーク調整に3年を要した。
- 直ぐに動く場合も有るが、4ヶ月間使用できなかった場合もあった。
- F社が納入したSGIのシステムは6ヶ月間動作しなかった。
- Origin2000のシステムが導入後1年半が経過しても問題点を解決できていない。
- N社の納入したVODシステムが動作しない。
- N社の納入したシステムでATM, sambaに不具合が発生しており、半年経っても対策が完了していない。
- 3年目でシステムが安定したが、3年目からハードウェアの故障が発生し始めた。Originの電源には不安があるので置き換えた。
- N社のシステムは1年目には多くのトラブルが発生したが、2年目からはなんとか使用できた。

## 業者に対する対応

- 業者に期限を明確に伝えておくこと。
- 建前を堅持すること。
- テストで駄目な物は交換させるなど、厳しく対処すること。
- システム導入前にヒアリングを行い、簡単な質問にも答えられない業者は落とす。
- マニュアルがよくできている業者の製品を選択する。
- 仕様書に「他大学で起きたトラブルは完全に解決すること。」という項目を入れた。
- 安定稼働せず、稼働率が下がるとレンタル料を減額するようにしている。

## 新システムの導入について次の意見が出された。

- 研究論文等もあり2月に新システム導入は厳しい。1度に全てのシステムを安定させるのは難しいので、まず研究用システムを安定させてから、4月までに教育システムを安定稼働させる。
- 導入実績のない最新機器ではなく、他大学等で安定稼働しているシステムを導入する。

## 5年レンタル問題について

会計法上はレンタル期間は48週間とされている。現状は2割減で4年間レンタルと理解する。同様の考え方で、4割減で3年間レンタルなども考えられないか。

## 次期開催校の選出

鹿児島大学を候補としてセンター長会議に提案することになった。

## 第3回 「学術情報処理研究」研究集会

開催日時	平成11年10月8日(金) 9:30~17:10
開催場所	弘前大学総合情報処理センター「計算機システム研修室」
発表論文数	15件(発表15分、質疑応答5分)